

● 新しい^{ちいき}地域づくり (1) 新しい町づくりをめざして



ぼくが楽しみにしているコスキンは全国でも有名な行事なんだよ。

わたしたちの川俣町は、古くから、緑ゆたかな自然にかこまれ、絹おり物の町として栄えてきました。わたしは、元氣、活氣、勇氣をモットーに、本當に住んでよかったですと思ってもらえる町づくりをしたいと考えています。

町ではさらに、お年よりも若い人も安心して住める川俣町をめざして、第四次しんこう計画をつくり、ふれあい福祉ゾーンせいびの推進や農業、林業、工業、商業、かん光など、いろいろな面から新しい町づくりを計画しています。

住みよい町を作るためには、町民のみなさんが力を合わせることもっとも大切です。

小学生の皆さんもよい考えがあったらどんどん出してください。



新しい町づくりをめざして
(町長さんの話)

▼コスキン・エン・ハボン

昭和50年から毎年10月第2土・日曜日、中央公民館で開かれます。全国各地から中南米音楽の愛好家が多数集まり、音楽を楽しみます。



▼農業振興公社

川俣シャモ・川俣ハムなど新しい農産物の生産をめざして昭和62年につくられました。町と農家が力を合わせて生産が進められています。



▼絹市

古くから町の産業であった絹せい品をはじめ、町で作られたものが安く売られています。毎年たくさんの方が集まります。



▼きれいな広瀬川を守ろう

「アヒルの住めるきれいな広瀬川をいつまでも守ろう」と町の人々によびかける運動が行われています。



新しい町づくりは、どんなことをめざして進められているのだろう。